七夕に車椅子3台寄贈

（一社）広島県配置医薬品連合会

一般社団法人広島県配置医薬品連合会（小畠恒治会長）では毎年七夕の日に合わせて障害者支援施設などに車椅子を贈っているが、今年は七月五日に広島市にある「時計台」身体障害者支援施設に車椅子三台を贈呈した。

同会では、平成六年から社会福祉施設への車椅子寄贈を実施しており、今年で二十年連続二十回目の贈呈式となった。寄贈に当たっては、毎年、講習会等で会員から募金を行っている。寄せられた浄財を元に、回商地域住民への感謝の気持ちとして実施している。

贈呈式は、午前十時半から広島市安芸区中野東の社会福祉法人共助会「時計台」身体障害者支援施設で行われた。贈呈式には県薬務課の城本隆昭主任の臨席のもと、連合会から小畠恒治会長、近藤雅美副会長、門那良三副会長、鈴木将理事の五名が出席。施設側からは、丸子伸二施設長ほか多数の職員が臨席。

小畠会長から車椅子贈呈の経緯等について説明ののち、和やかに記念撮影を行った。

このあと、丸子施設長と高田真知子サービス管理責任者の案内で施設を見学した後、丸子施設長を囲んで懇談。丸子施設長から、施設の生い立ちや運営の基本方針などの説明があった。

同施設には、障害者等三十一名が所属しており、入所者の日々の生活状況等の説明もあり、丸子施設長は、「外出時には特に車椅子が必要とされるので、大変有り難い贈り物です」と感謝の言葉を述べた。

連合会参加者は、午前十一時四十分に職員と入所者の見送りを受けて施設を後にした。

身体障害者施設に車椅子を届けた会員ら